

## 前回会議の振り返りと論点

- ・「新たな公共施設」の視点から、皆さんが思い描く施設機能のイメージがある程度固まってきました。
- ・公共施設の立地とまちづくりの方針は絡んでくるということも共通理解されてきました。
- ・ある程度まとまった敷地の確保や、費用負担の面、郊外に広がらないためにも、JR敷地の活用が可能であれば「駅周辺地区」への立地で良いといった意見でまとまりました。
- ・様々な課題はあるものの、災害リスクの観点を持ちながら、建築面、ソフト面での対応でハザードマップの中に入っても立地は可能と思われます。

## ●「新しい公共施設」の運営を考えよう

- ・近年、公共施設の整備、運営を考えるにあたり、様々な官民連携の手法が導入されています。
- ・皆さんの思い描く施設機能のイメージを最大限に活かし、利用が活発化するためには、運営方法を考えることが重要です。
- ・運営に「民間活力」と、「複合機能」の効果が最大限発揮されるために、公共施設はどのように管理、運営されるのが望ましいでしょうか。
- ・周囲と連携するような拠点機能を発揮するには、どのような運営、役割が必要でしょうか。

具体的な他市事例を参考に、皆さんで考えてみましょう。

今回（第5回）と次回（第6回）の2回で方向性を導き出しましょう。